

## 総合操作盤の消防隊活動時における表示・操作性の改善

### 要 旨

総合操作盤の構造、機能は「総合操作盤の基準を定める件」(平成16年消防庁告示7号)によって定められていますが、設備の特性上、大規模、複雑化した建物を対象としたものであることから、従来の自動火災報知設備に比べて取り扱いに高度な専門知識、習熟を求められるものとなっています。

そのため消防隊の緊急時対応の際、幅広い詳細な情報収集が可能な反面、容易な操作での状況把握という面からは課題がありました。

今回、消防機関より現場でのわかりやすさと各社間の共通化要望が寄せられたことを機に、**緊急時に消防隊が確認する部分を重点に機能の追加と共通化**をはかり技術基準※1としてまとめました。

この検討にあたり、消防庁予防課より助言を頂くとともに全国消防長会予防委員会において主旨の説明を行いました。

※1 (社)日本火災報知機工業会技術基準

(総合操作盤の消防支援に係る技術基準(日火基0901))

### 対応内容

- 緊急時に防災センターに設置されている総合操作盤を迅速に識別し、適切な確認操作ができるよう盤の表記、配置を基準化する。
- 総合操作盤の表示操作の中心であるディスプレイ装置において、とくに緊急時に必要な情報収集操作について基準化する。

#### 【課題】

■ 防災センターのレイアウトが建物毎に異なっており、どの盤が防災盤であるのかが分かりにくい。

■ 消防隊が緊急時に消防活動する上で使い易い総合操作盤の配置になっていない場合がある。

■ 総合操作盤の構造、機能の規定は定められているが、操作方法等については統一されていない。

#### 【対応策】

①

防災センター内に配置されている盤銘板の表示名称・方法を統一する

②

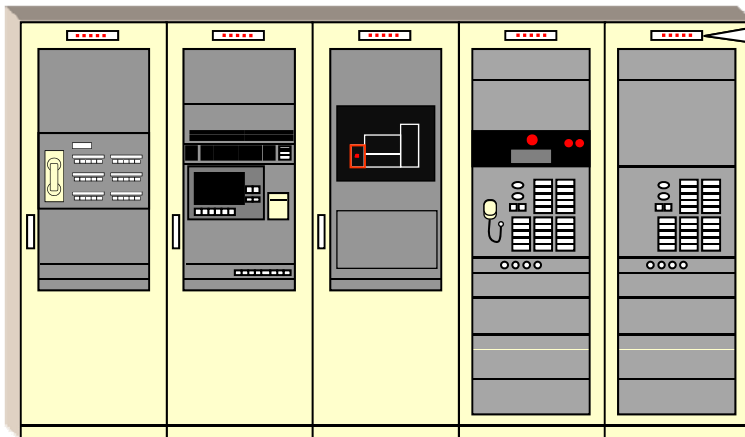
消防隊が情報収集をしやすい防災盤の配置を基準化する

③

ディスプレイ装置に専用の『消防支援スイッチ』を設け、操作方法について共通化する

## 具体的対応

- ① 防災センター内に配置されている盤銘板の表示名称、表示方法を統一する
  - ・ 主な防災盤(非常放送・受信機・CRT・非常電話)の名称統一
  - ・ 盤銘板表示方法の統一
- ② 消防隊が情報収集をしやすい防災盤の配置を基準化する
  - ・ 消防隊が現場において確認する盤(自立盤)をまとめ、配置を基準化



非常電話盤 火災受信盤 防災表示盤 非常放送盤

左 ← → 右

### ① 盤銘板の表示名称、表示方法を統一

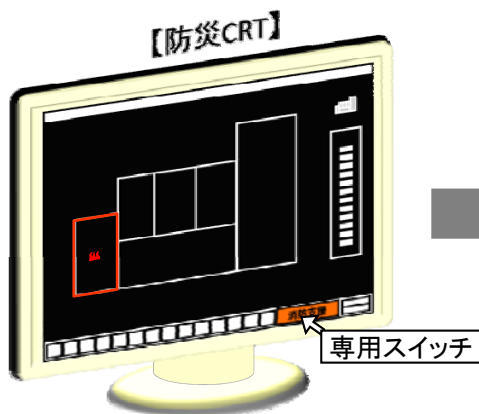
- (1) 銘板は白地に赤文字  
(例)

火災受信盤

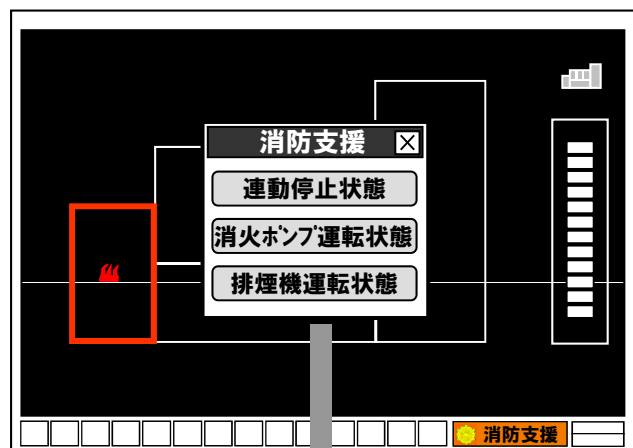
- (2) 盤名称の統一
- ・ 非常電話盤
  - ・ 火災受信盤
  - ・ 防災表示盤
  - ・ 非常放送盤

### ② 基本的な配置を基準化

### ③ 『消防支援スイッチ』を設け、操作方法について共通化する



#### 消防支援のメニュー表示例



### ③ 『消防支援スイッチ』を装備

- 専用スイッチの操作で消防支援メニュー表示
- ・ 防排煙機器の連動停止状態確認と解除操作
  - ・ 消火ポンプ運転状況の確認と起動操作
  - ・ 排煙機の運転状況の確認と起動操作



注 ③『消防支援スイッチ』については、2011年末までに順次商品化されます。